

印西市立図書館サービス計画取組状況について（令和6年度）

【資料2】

目標値及び実績・成果の評価方法について

- 目標値の達成度については下記の通り記述する。
- 【A】目標値100％以上の実績・成果があった。
- 【B】目標値80％以上の実績・成果があった。
- 【C】目標値80％未満の実績・成果だった。達成に向けた検討が必要

基本方針 1 市民の「知りたい」「学びたい」「調べたい」を支える図書館サービス

1 基本的な図書館サービス

（1）資料収集・蔵書構成

主な取組み	取組の内容	今後取り組むこと	サービス計画				旧サービス評価指標			
			目標値	取組状況（令和6年度）	評価		区分	目標値（令和7年度）	達成方法（抜粋）	実績・成果（令和5年度）
読書・調査研究活動に必要な資料の収集	市民の読書、調査研究活動を支援するため「資料収集要領」「資料選定基準」に基づき必要な資料を収集します。幅広い情報を収集し、蔵書構成の充実を図ります。	幅広い分野の情報提供ができるよう、買い替えなども含め適切な資料収集を推進し、図書館資料の充実に努めます。	図書資料受入点数 令和10年度目標値 15,000点 令和15年度目標値 20,000点	図書資料受入点数実績 14,090点（内購入12,574点） 買い替えなども含め、図書館資料の充実に努めた。	B		区分 1	図書資料受入点数 12,000点	①市民の読書、調査研究活動を支援するために必要な資料の収集を進めます。 ②各館の地域の特性や利用状況等を考慮した蔵書構成に努めます。	図書資料受入点数 令和5年度実績 11,496点 買い替えなども含め図書館資料の充実に努めた。
6館それぞれの利用状況に合わせた蔵書構成	各図書館の地域の特性や利用状況に合わせた資料収集方針を年度ごとに作成して蔵書を構成します。	各図書館の地域の特性や利用状況に合わせた蔵書構成の充実を図ります。 各図書館の地域の特性や利用状況に合わせたレファレンスサービスの充実を図ります。 課題解決サービス（健康・医療事情・ビジネス支援・法情報）の充実を図ります。	各図書館の蔵書構成の充実 レファレンスサービスの充実 課題解決サービスの充実	開架や書庫の除籍を行うなど資料整理を行い、保存場所の確保に努め、資料の買い替えを行った。 大森図書館の一般書架のレイアウトの変更を行い、見やすく手に取りやすい棚となるようにした。 課題解決サービスについて、資料の充実やコーナーの充実を検討していく。	B					
地域資料の収集	印西市を中心とした隣接地域及び千葉県内を範囲として収集を行います。 印西市に関するものは、郷土資料・行政資料とも積極的に収集します。 印西市域以外については、概説的なものや特徴的なものを中心に収集します。 必要に応じてデジタル化を検討します。	積極的に印西市を中心とした地域資料を収集・保存し提供します。 講座やホームページなどで情報提供することで市民の活動の発展につなげます。 必要に応じて資料のデジタル化を推進します。	地域資料の受入冊数 令和10年度・15年度 目標値 600冊/年 地域資料の情報提供 資料のデジタル化	地域資料の受入冊数実績 534冊 印西市や千葉県に関する地域資料の収集や提供に努めた。 今後寄贈等の未登録資料を登録し、利用者へ提供を図る。 地域資料のデジタル化について、公開できる資料について今後検討する。	B		区分 4	印西市関係資料の受入冊数 600冊/年 印西市関係情報の発信	①印西市および周辺地域に関する資料の収集に努めます ②他機関との連携を強化し、資料の収集や情報の交換に努めます。 ③市民ニーズが高い課題やテーマについての定期的な情報発信に努めます。	印西市関係資料の受入冊数 令和5年度実績 604冊 目標値を達成した。 印西市や千葉県に関する図書及び地域資料の収集や提供に努めた。

（2）貸出・予約サービス

主な取組み	取組の内容	今後取り組むこと	サービス計画				旧サービス評価指標			
			目標値	取組状況（令和6年度）	評価		区分	目標値（令和7年度）	達成方法（抜粋）	実績・成果（令和5年度）
資料の貸出しの利便性の向上	各世代の利用者の学習、調査研究などに役立つ資料を提供します。	利用が少ない世代に対して利用を促進する手法を検討します。 利用者の利便性の向上と運営の効率化を図るため、ICタグを活用した自動貸出・返却機の導入の検討。	市内登録者数 令和10年度・15年度目標値 34,000人/年 個人貸出点数 令和10年度目標値 855,000点/年 令和15年度目標値 900,000点/年 個人貸出者数 令和10年度目標値 280,000人/年 令和15年度目標値 286,500人	市内登録者数の実績 25,546人 目標値に対して実績が少ない。 図書館利用の周知の具体的な対策を今後行う。 個人貸出点数の実績 822,646点 個人貸出者数の実績 268,536人 貸出者数に比べ貸出点数が前年度より減少している。 より資料の活用をしてもらえるよう展示や本の並べ方など検討していく。	B		区分 2	市内登録者数 34,000人/年	①ブックスタート事業や他機関への働きかけを通じ、市民に図書館について積極的に広報を行い、利用の促進に努めます。	市内登録者数 令和5年度実績 24,498人 事業や他機関への働きかけを通じ、市民に図書館について積極的な広報を行う。
								個人貸出点数 822,000点/年 個人貸出者数 270,000人/年	①利用者層や利用目的に対応したサービスの充実に努めます。 ②館内展示・ホームページ等を活用し、積極的な資料の紹介に努めます。	個人貸出点数 令和5年度実績 845,338点 個人貸出者数 令和5年度実績 267,214人 目標はほぼ達成した。目標値を達成できるようサービスの充実や紹介に努めたい。
予約サービスの向上	図書館窓口や電話での受付、図書館ホームページでパスワードを使用した所蔵資料の予約を実施します。	非来館でのパスワード発行及びウェブでの未所蔵資料のリクエスト受付方法を検討し、実施を目指します。	資料予約件数 令和10年度目標値 160,000件/年 令和15年度目標値 190,000件/年	資料予約件数の実績 162,536件 令和10年度の目標値に達成した。 ウェブでのパスワード申請や未所蔵資料のリクエストの受付について検討する。	A		区分2	資料予約受付件数 127,400件/年	窓口受付に加え、インターネットによる予約の増加を図ります。	資料予約受付件数 令和5年度実績 156,685件 インターネットを中心に予約件数は増加している。

(3) レファレンスサービス

主な取組み	取組の内容	今後取り組むこと	サービス計画				旧サービス評価指標			
			目標値	取組状況（令和6年度）	評価		区分	目標値（令和7年度）	達成方法（抜粋）	実績・成果（令和5年度）
レファレンスサービスの利用促進	利用を促進するためレファレンスサービスの広報を実施します。	レファレンスサービスについて広報紙や図書館ホームページへ掲載し市民への周知を図ります。 インターネットを活用したレファレンス受付を行い利便性の向上を図ります。	レファレンス件数 令和10年度目標値 25,400件/年 令和15年度目標値 25,500件/年	レファレンス件数 20,458件/年 目標値に及ばなかった。 インターネットのレファレンス受付については,対応する職員数が限られていることが課題である。	B		区分 3	レファレンス件数 25,400件/年	①利用者にレファレンスサービスについて積極的に広報し、利用の促進に努めます。 ②利用者への明るい対応を心がけるとともに、館内どこでも気軽に相談できる環境作りに努めます。 ③レファレンス専用カウンターを各館に設置して、利用しやすい環境を整えます。 ④図書館で回答が難しい質問等については、県立図書館等適切な専門機関等に依頼や紹介を行い、何らかの回答ができるように努めます。	レファレンス件数 令和5年度実績 19,766件 目標には及ばなかった。相談しやすい環境づくりに努めたい。
レファレンスサービスの質の向上	研修などにより職員のスキルアップを図ります。 図書館で回答が難しい質問は県立図書館などへの依頼・紹介で対応を図ります。	利用者への知りたいという要望に応えられるよう研修への参加や自己研鑽を促進し、職員間の情報共有を図ります。	職員のスキルアップ 職員研修等の充実 令和10年度・15年度 目標値 20回/年	研修への参加回数の実績 18回（内レファレンスサービス研修3回・3名参加） 研修後は研修報告書の回覧を行い情報を共有した。 各館で記録しているレファレンスの記録を全館の職員間で共有できるように努める。	B		区分 8	研修への参加 20回/年	①県立図書館や県公共図書館協会等が主催する実践的研修に積極的に参加します。 ②課題解決に向けた自主研修を励行します。 ③教育センター等の市の機関と連携し、お互いの職員のスキルアップが図れるような研修を行えるよう連携の強化を図ります。 ④上記①②③で得た情報を職員間で共有し、図書館サービスの拡大に役立てます。	研修への参加回数 令和5年度実績 14回 Zoomや動画配信なども活用し、積極的に研修に参加した。
レファレンス事例集の公開	レファレンス事例集を公開します。 レファレンス事例集の公開	レファレンス事例の公開を更新していきます。 パスファインダーを作成します。	レファレンス事例集の充実。 パスファインダーの作成。	レファレンス事例記録件数の実績は49件。内図書館のホームページに21件公開した。 パスファインダー作成については作成できる職員体制が図れないことが課題である。	C		区分 3	調査研究支援 ツールの充実 レファレンス事例 記録件数：計49件 パスファインダー 作成件数 1件/年	①レファレンス実績の中から今後の参考になる事例を選定したレファレンス事例集の充実を図ります。 ②市民の調査研究を支援するため、特定のテーマや展示棟に関連したパスファインダーを作成し、利便性の向上を図ります。	レファレンス事例記録件数 令和5年度実績 45件 パスファインダー作成ができる体制が取れないことが課題である。

2 「本と出合う」「本と親しむ」機会作り

(1) 資料展示

主な取組み	取組の内容	今後取り組むこと	サービス計画				旧サービス評価指標			
			目標値	取組状況（令和6年度）	評価		区分	目標値（令和7年度）	達成方法（抜粋）	実績・成果（令和5年度）
資料展示の実施	図書館の利用を促進するため資料展示を実施します。	展示資料のリストの作成及び図書館ホームページでの公開を実施します。 展示内容の充実のほか、市の関係機関と連携した展示を継続実施します。	展示資料の充実	子ども読書週間展示や読書週間の展示の本の一覧をホームページで公開した。また、各図書館の展示状況をホームページの「図書館ピックアップ」で紹介した。 「認知症月間」や「自殺対策強化月間」には健康増進課と連携して展示を行った。	B					

（２）図書館事業の開催

主な取組み	取組の内容	今後取り組むこと	サービス計画			旧サービス評価指標			
			目標値	取組状況（令和6年度）	評価	区分	目標値（令和7年度）	達成方法（抜粋）	実績・成果（令和5年度）
講座・企画事業の実施	子どもたちや一般成人の図書館への興味や読書推進につながるような事業や講座を実施します。	職員のスキルアップやボランティアとの協働など市民や利用者のニーズを把握した新しい事業の実施を推進します。 行政各部署や関係機関と連携し共催事業を行います。 郷土資料や地域資料について、講座や図書館ホームページで情報提供することで市民の活動の発展につなげます。	子どもや一般向け事業の実施 児童対象事業数 令和10年度・15年度 目標値 40事業/年	児童対象事業を43事業行った。（ボランティアとの協働を含む） 一般向け新規事業として「認知症講座」や「法律相談事業」を行った。 郷土資料の情報提供については今後検討していく。	A	区分6	児童対象事業数 37事業/年	子どもたちの図書館への興味や読書推進につながるような事業の展開に努めます。	児童対象事業数 令和5年度実績 42事業（共催・連携事業含む） 目標値は達成した。引き続き事業の実施に努めたい。
本と出会う・本とし親しむ 機会の提供	小倉台図書館では、職員と利用者からのおすすめ本を紹介する「図書紹介コーナー」を設置しています。 大森図書館では「大人のためのブックリスト」を年1回発行しています。	利用者参加の本の紹介コーナーの拡大・充実を図ります。 紹介した資料を図書館ホームページなどにも掲載するなど利用促進を図ります。	本の紹介コーナーの充実 大人対象のブックリストの作成	小倉台：毎月利用者から寄せられた中から9冊を選んで展示貸出し、1年分まとめたリストを作成し配布した。 大森：「大人のためのブックリスト」を11月に発行した。	A				

（３）情報提供及び利用者促進

主な取組み	取組の内容	今後取り組むこと	サービス計画			旧サービス評価指標			
			目標値	取組状況（令和6年度）	評価	区分	目標値（令和7年度）	達成方法（抜粋）	実績・成果（令和5年度）
図書館ホームページの充実	図書館ホームページの内容の充実を図ります。 検索機能の向上及び表示項目など最新情報の掲載に努めます。	図書館に対する関心を高め、利用者の拡大を図る取組として、SNSを活用した情報発信、資料案内を行います。	ホームページへのアクセス件数 令和10年度目標値 595,000件/年 令和15年度目標値 750,000件/年	ホームページへのアクセス件数 623,980件/年 目標値に達した。 今後もホームページの利用促進のため、継続的な情報の更新、機能の向上に努める。	A	区分9	ホームページへのアクセス件数 574,000件/年 （令和4年システム更新後の目標値） 図書館システムの整備	①市立図書館ホームページ上の検索機能の向上及び表示項目等最新情報の掲載に努め、内容の充実を図ります。 ①図書館ホームページの見やすさ等内容を充実させ、蔵書検索及び予約機能の充実を図ります。	ホームページへのアクセス件数 令和5年度実績 567,317件 アクセス件数は目標に達成しなかった。内容・機能の充実を図りたい。
刊行物の発行・送信	利用案内を発行します。 転入者への利用案内を配布します。 図書館で行っている事業などの情報を掲載した「としょかんつうしん」を発行します。	印刷物以外の媒体による公開の検討を行い、SNSの活用を含めた刊行物の発行を図ります。 刊行物を継続して発行できるよう職員のスキルアップを図ります。	としょかんつうしんの発行 6回/年	としょかんつうしんの発行を年6回行った。刊行物はすべて図書館ホームページに掲載している。 転入者に渡す「転入袋」に図書館の利用案内を入れてもらい、図書館を知ってもらおうきっかけとした。	A	区分2	図書館からの情報発信	①としょかんつうしんを発行し、図書館で行っている情報をお知らせします。	転入者へ渡す「転入袋」に図書館の利用案内を入れている。 としょかんつうしんを年6回発行した。

（４）ブックリスト

主な取組み	取組の内容	今後取り組むこと	サービス計画			旧サービス評価指標			
			目標値	取組状況（令和6年度）	評価	区分	目標値（令和7年度）	達成方法（抜粋）	実績・成果（令和5年度）
ブックリストの作成	「えほんのくに」、小学生向けに「ほんのタネ」、中学生向けに「Book de Go！」などのブックリストを作成・配布します。	子どもが新しい本に出合えるようブックリストの内容の充実を図ります。 より多くの本に触れる機会を作るため、発行回数の増加に努めます。 将来の図書館DXの推進に合わせたブックリストのビジュアル化を検討します。	「えほんのくに」 年3回 「ほんのタネ」 年1回 「Book de Go！」 年1回	子ども向けブックリストとして、「えほんのくに」を年3回、小学生向けに「ほんのタネ」を年1回、中学生向けに「Book de Go！」を年1回作成・配布した。「ほんのタネ」「Book de Go！」の紹介図書について、QRコードを掲載しWeb－OPACで検索できるようにした。また、市内の小中学校の保護者へスクリレによる配信を行った。	A	A	区分2	図書館からの情報発信	②子どもむけのおすすめ本リスト（「えほんのくに」（年3回）「ほんのタネ」（小学生向け）「Book de Go！」（中学生向け）（年1回）等を発行し、子どもたちに図書館に所蔵している本の紹介を行います。 ブックリストの紹介図書について、QRコードでWeb－OPACに誘導できるよう検討する

3 多様な利用者に対応した図書館サービス

(1) 高齢者を対象とした図書館サービス

主な取組み	取組の内容	今後取り組むこと	サービス計画				旧サービス評価指標			
			目標値	取組状況（令和6年度）	評価		区分	目標値（令和7年度）	達成方法（抜粋）	実績・成果（令和5年度）
高齢者の読書活動の推進	高齢者層が読みやすい大活字本、朗読CDなどを収集します。 拡大読書器などの読書支援機器を整備します。 自宅などでの受け取りを希望する利用者への配送サービスを実施します。	大活字本・朗読CDなどの資料を収集し充実を図ります。 拡大読書器などの読書支援機器の整備を推進します。 来館が困難な利用者へのサービスを実施できる体制などを整備します。	大活字本の受入冊数 令和10年度・15年度 目標値 30冊/年 来館が困難な利用者へのサービス体制の整備	大活字本の受入冊数 41冊 目標値は達成した。継続して大活字本をはじめとした高齢者の読書活動を推進する資料の収集・充実に努めたい。 宅配サービスや有料配送サービスの利用はなかった。 来館が困難な利用者へのサービスのPRに努めたい。	B	B	区分 7	体制整備 大活字本の受入冊数 30冊/年	⑤さまざまなハンディを持つ利用者へ提供できるよう、大活字本等の資料の収集・充実に努めます。	大活字本の受入冊数 令和5年度実績 19冊 目標には及ばなかった。大活字本の収集・充実に努めたい。 宅配サービス 令和5年度実績 1人77冊

(2) 図書館利用が困難な方へのサービス

主な取組み	取組の内容	今後取り組むこと	サービス計画				旧サービス評価指標			
			目標値	取組状況（令和6年度）	評価		区分	目標値（令和7年度）	達成方法（抜粋）	実績・成果（令和5年度）
障がい者サービスの広報	広報や図書館ホームページなどで対面朗読・宅配・録音資料の郵送等、障がい者サービスについて積極的に周知するとともに、利用者の拡大を図ります。 関係機関と連携しながら、利用者の要望の聴取に努めます。	広報や図書館ホームページなどで障がい者サービスについて周知を積極的に行い、それぞれのニーズにあったサービスが提供できる環境を整備します。	障がい者サービスの広報・ホームページへの宣伝回数 1回/年	広報いんざい令和6年12月1日号で障がい者サービスの案内を行った。 3月に図書館ホームページの図書館ピックアップで録音資料郵送サービスの案内を行った。 高齢者福祉課や介護福祉課を利用してサービスのPRを図る。	B	B	区分7	体制整備 障がい者サービスの広報・ホームページへの宣伝回数 1回/年	①広報やホームページ等で宅配・録音資料の郵送等障がい者サービスについて積極的にPRするとともに、利用者の拡大に努めます。	図書館のホームページの利用案内に障がい者サービスについて掲載した。今後広報紙への掲載を検討する。
職員のスキルアップ	具体的な取組を実現していくために職員のスキルアップを図ります。	千葉県や千葉県公共図書館協会などで実施している研修へ職員の積極的な参加を促進し、一人一人のスキルアップを図ります。 福祉関係機関などが実施する研修への参加により、障がい者及び障がいへの理解を深め、対象となる利用者に対し、適切な窓口対応やサービスを提供できるように努めます。	研修への参加 （※障がい者サービスの研修が対象のため研修の目標値は入れていません。）	障害者サービス研修に2回（4名）、バリアフリー講座の研修に1回（1名）参加した。 職員のスキルアップのため研修に参加できる体制を整えていく。	B		区分7	体制整備	③読書バリアフリー法の理念を推進し、具体的に実現していくため職員のスキルアップを図ります。	バリアフリー講座や音訳者養講座の研修に参加した。
							区分8	研修への参加	①県立図書館や県公共図書館協会等が主催する実践的研修に積極的に参加します。 ②課題解決に向けた自主研修を励行します。	
ボランティアの育成	対面朗読ができるボランティアの登録を実施します。	ボランティアの研修などを定期的に行い、利用者の要望に応えられるよう体制を整備します。	図書館ボランティアとの連携 （※障がい者サービスでの連携が対象のため研修の目標値は入れていません。）	ボランティアの対面朗読に係る研修は行わなかった。対面朗読の依頼はなかった。図書館ボランティアの登録については、今後全体的に見直しを行う。	C		区分7	体制整備	④対面朗読や読み聞かせ等のボランティア体制を整えます。	対面朗読の依頼は0件だった。
							区分8	図書館ボランティアとの連携	①読み聞かせや対面朗読ボランティア等、活動に必要な知識や技術を習得した図書館ボランティアと連携して講座・事業等を行います。	
環境の整備及び資料の収集・充実	対面朗読室、拡大読書器（大森）、プレクストークなどを整備します。「宅配サービス実施要領」「録音資料郵送貸出実施要領」などを作成し要望に応えられるよう体制を整備します。 大活字本やLLブックや朗読CDなどの資料の収集・充実に努めます。	大活字本やLLブック、朗読CDなどの資料を収集し充実を図るとともに、様々な要望に応えられるような体制の整備を図ります。	大活字本やLLブック、朗読CDなどの受け入れ 大活字本の受入冊数 令和10年度・15年度 目標値 30冊/年	大活字本の受入冊数 41冊 LLブックの受け入れ冊数 5冊 大活字本に比べてLLブックの購入は少なかった。継続して大活字本やLLブックの収集・充実に努めたい。	B		区分7	体制整備 大活字本の受入冊数 30冊/年	⑤さまざまなハンディを持つ利用者へ提供できるよう、大活字本等の資料の収集・充実に努めます。	大活字本の受入冊数 令和5年度実績 19冊 目標には及ばなかった。大活字本の収集・充実に努めたい。
図書館窓口の設置	図書館以外での図書館資料の受取及び返却場所の増設についての検討を行います。	利用者の利便性の向上のため、図書館資料の受取及び返却場所の増設について検討します。 近くに図書館資料の受取及び返却ができる施設がない地域へ移動図書館の導入を検討します。	図書館資料の受取及び返却場所の増設	（仮称）千葉ニュータウン中央駅圏複合施設（コスモスパレット）内に設置する図書の貸出窓口の開館に向けての準備を行った。	B	区分9	図書館ネットワークの充実	②コミュニティセンターや学校等図書館以外での図書館資料の受取及び返却場所の増について検討します。	（仮称）千葉ニュータウン中央駅圏複合施設内に設置する図書の貸出窓口の準備を行った。	

（３）多文化サービス

主な取組み	取組の内容	今後取り組むこと	サービス計画				旧サービス評価指標			
			目標値	取組状況（令和6年度）	評価		区分	目標値（令和7年度）	達成方法（抜粋）	実績・成果（令和5年度）
外国語資料の収集・充実	外国人利用者のための外国語資料の充実を図ります。	英語資料だけでなく多言語の資料の収集・充実を図ります。 資料選定のため、職員のスキルアップを図ります。	英語や中国語の図書の 他多言語の図書の資料 収集に努める。	英語や中国語の絵本を収集・提供し た。 洋書の所蔵数は887冊。	B	B				
日本語学習資料の収集	日本で学び生活をする外国人向けの、日本語学習資料 や生活に役立つ資料を収集するとともに、情報の提供 を行います。	日本語を学びたい外国人のニーズに対応し、日本語学習 資料や生活に役立つ資料の充実を図ります。 「利用案内」や「としょかんつうしん」など、図書館で 作成している案内の多言語化や外国語を習得している職 員の配置などにより、外国人にとってより使いやすい サービスの提供を目指します。 翻訳アプリなどの活用により、各図書館での対応に格差 が生じないような工夫を行います。	日本語学習資料や生活 に役立つ資料の充実を 図る。	日本で生活する外国人向けの、日本 語学習や生活に役立つ資料の収集に 努めた。	B					

４ デジタル化への対応～非来館型サービスの充実

（１）電子図書館の推進

主な取組み	取組の内容	今後取り組むこと	サービス計画				旧サービス評価指標			
			目標値	取組状況（令和6年度）	評価		区分	目標値（令和7年度）	達成方法（抜粋）	実績・成果（令和5年度）
電子書籍の充実	継続的な電子書籍の選定と提供を行います。	子どもから大人まで幅広い世代に認知・利用してもらえ るよう、各利用者のニーズにあった電子書籍を収集しま す。	電子書籍受入点数 令和10年度目標値 500点/年 令和15年度目標値 700点/年 電子書籍貸出点数 令和10年度目標値 1,500点/年 令和15年度目標値 2,000点/年	電子書籍受入点数 383点/年 電子書籍貸出点数 1,508点/年 電子書籍の貸出点数は目標値に達し たが、受入点数は達しなかった。 利用促進のため電子書籍の広報に努 める。また、蔵書を充実を図るため 資料費の確保に努める。	B	B	区分1	電子書籍受入点数 500点/年	①非来館型サービスの充実を図るた め、電子書籍の受け入れを進めま す。	電子書籍受入点数 期限付き 83点 期限なし 195点 目標は達成できなかった。
利用の拡充	電子図書館の周知を図り、より多くの利用者に電子書 籍の利用を促進します。	図書館ホームページなどで電子図書館の認知を図り、認 知度の向上と利用促進を図ります。 電子雑誌など、図書に限らない資料の導入と提供を検討 します。音楽配信など、文字媒体に限らない資料の導入 と提供を検討します。	電子図書館の周知 電子書籍・電子雑誌・ 音楽配信等の導入の検 討	市内新規登録者に電子図書館の仮バ スワードを発行し、電子図書館の利 用案内を行った。 また、広報いんざい令和7年2月15日 号で電子図書館の案内を行った。	B		区分2	電子書籍貸出点数 1,500点/年	①非来館型サービスの充実を図るた め、電子書籍の提供を進めるととも に、利用促進のための広報活動に努 めます。	電子書籍貸出点数 令和5年度実績 1,252点 受入点数は今後も継続的に予算を 確保し、増やしていく予定であ る。電子書籍の認知度の向上と利 用促進を図る。

（２）図書館ホームページの充実と利用促進

主な取組み	取組の内容	今後取り組むこと	サービス計画				旧サービス評価指標			
			目標値	取組状況（令和6年度）	評価		区分	目標値（令和7年度）	達成方法（抜粋）	実績・成果（令和5年度）
図書館ホームページの充実	図書館からのお知らせなど、利用者に必要な情報を継 続して更新します。 図書館ホームページについて、継続して利用しやすい デザインや操作性の向上に努めます。	継続的な情報更新に努めます。 利用者からの要望などを踏まえ、デザインや操作性を改 善していきます。	ホームページへのアク セス件数 令和10年度目標値 595,000件/年 令和15年度目標値	ホームページへのアクセス件数 623,980件/年 目標値に達した。 今後もホームページの利用促進のた め、継続的な情報の更新、機能の向 上に努める。	A	B	区分2	ホームページへの アクセス件数 574,000件/年	①市立図書館ホームページ上の検索 機能の向上及び表示項目等最新情報 の掲載に努め、内容の充実を図りま す。	ホームページへのパソコンからの アクセス件数 令和5年度実績 567,317件 アクセス件数は目標に達成しな かった。内容・機能の充実を図り たい。
SNSを活用した情報提供	SNSを活用した広報活動を行います。	SNSを導入し、有効的な広報活動の方法を検討します。	SNSを活用した広報活 動	SNSの活用については、継続して検 討する。	C			図書館からの情報 発信	③図書館ホームページの内容を定期 的に更新し、メールやＳＮＳ等を活 用し、図書館の情報を配信すること を検討します。	ホームページは定期的に更新した が、SNS等を活用した情報発信を 検討したい。
Web－OPACの機能の充実	Web－OPACの機能の充実を図り、継続して利便性の 向上に努めます。	Web－OPACの充実及び利便性の向上について継続的に検 討し、改善していきます。	Web－OPACの機能の 充実	（仮称）千葉ニュータウン中央駅圏 複合施設（コスモスパレット）内に 設置する図書の貸出窓口を追加する 準備を行った。	A	B	区分9	図書館システムの 整備	①図書館ホームページの見やすさ等 内容を充実させ、蔵書検索及び予約 機能の充実を図ります。	継続的に内容の更新に努めた。
Web－OPACの利用促進	Web－OPACの使い方について講座を開くなど、より 多くの人に利用してもらえるような活動を行います。	継続的な利用促進を行います。 Web－OPACを図書館で実際に使ってもらう実践講座を定 期的に開催します	デジタルディバイトへ の対応	講座等は行わなかった。	C					

(3) デジタルアーカイブ

主な取組み	取組の内容	今後取り組むこと	サービス計画				旧サービス評価指標			
			目標値	取組状況（令和6年度）	評価		区分	目標値（令和7年度）	達成方法（抜粋）	実績・成果（令和5年度）
資料のデジタル化	図書館が所有する吉植庄亮のコレクションをデジタル化します。	今後デジタル化する資料に関する基準など運用について検討します。 資料をデジタル化できる技術を持った職員の育成や専門業者への資料のデジタル化の委託などを検討します。 関係機関と情報共有しながら、充実した資料提供を目指します。 吉植庄亮のコレクション以外の著作のデジタル化も継続して検討します。	資料のデジタル化に関する基準等の整備	資料のデジタル化に関する基準等の整備はできなかった。	C	C				

基本方針2 子どもたちの未来を育み可能性を広げる図書館

1 子どもの年齢に応じた取組の推進

(1) 乳幼児と保護者

主な取組み	取組の内容	今後取り組むこと	サービス計画				旧サービス評価指標			
			目標値	取組状況（令和6年度）	評価		区分	目標値（令和7年度）	達成方法（抜粋）	実績・成果（令和5年度）
おはなし会などの実施	「おはなし会」を実施します。 「おうちでおはなしかい」（おすすめ絵本や紙芝居のセットの貸し出し）を実施します。	おはなし会などの事業を継続して実施します。 おすすめ絵本や紙芝居のセット内容の充実を図るとともに、サービスの周知を推進し、利用実績を増やします。 すべての図書館で同様のサービス、またはそれに準じた機会を提供できるように取り組みます。	おはなし会などの実施	各図書館や中央駅前地域交流館でおはなし会を実施した。（参加者1,471名） 本埜図書館「おうちでおはなしかい」を行い155セットを貸出しした。	B		区分6	児童対象事業数 37事業/年	②子どもたちの図書館への興味や読書推進につながるような事業の展開に努めます。	児童対象事業数 令和5年度実績 42事業（共催・連携事業含む） 目標値は達成した。引き続き事業の実施に努めたい。
ブックリストの作成	「えほんのくに」などのブックリストを作成します。	幅広いテーマのブックリストを作成します。 子どもたちが新しい本に出合えるよう内容の充実を図ります。 将来の図書館DXの推進に合わせたブックリストのビジュアル化を検討します。	ブックリストの作成	子ども向けブックリストとして、「えほんのくに」を年3回、小学生向けに「ほんのタネ」を年1回、中学生向けに「Book de Go!」を年1回作成・配布した。「ほんのタネ」「Book de Go!」の紹介図書について、QRコードを掲載しWeb－OPACで検索できるようにした。また、市内の小中学校の保護者へスクリレによる配信を行った。	A	B	区分2	図書館からの情報発信	②子ども向けのおすすめ本リスト（「えほんのくに」（年3回）「ほんのタネ」（小学生向け）「Book de Go!」（中学生向け）（年1回））等を発行し、子どもたちに図書館に所蔵している本の紹介を行います。	子ども向けおすすめ本リストの発行 令和5年度実績 えほんのくに 3回 ほんのタネ 1回 Book de Go! 1回 ブックリストの紹介図書について、QRコードでWeb－OPACに誘導できるよう検討する。
職員のスキルアップ	子どもの発達段階に対応したサービスの向上や基本から専門までの知識・技能を習得します。 研修への参加を促進します。	子どもや保護者に対して充実したサービスを提供するため、研修への積極的な参加を促すなど、職員のスキルアップを図ります。	職員のスキルアップ （※児童サービスの研修が対象のため研修の目標値は入れていません。）	児童サービス研修に5回（2名）参加した。 Zoomや動画配信なども活用し、積極的に研修に参加していく。	B		区分6 区分8	研修への参加 20回/年	①子どもの発達に対応した児童サービスの向上をめざし、基本から専門までの知識、技能を身につけられるよう、研修への参加を促し、スキルアップを図ります。	県立図書館等主催研修への参加回数 令和5年度実績 14回 （内児童対象研修6回） Zoomや動画配信なども活用し、積極的に研修に参加した。

（２）児童生徒

主な取組み	取組の内容	今後取り組むこと	サービス計画				旧サービス評価指標			
			目標値	取組状況（令和6年度）	評価		区分	目標値（令和7年度）	達成方法（抜粋）	実績・成果（令和5年度）
事業の実施	「スタンプラリー」「図書館探検隊」「科学あそび」などの様々な事業を実施します。	現在実施している事業を整理し新たな事業の企画・実施を図ります。	児童対象事業数 令和10年度・15年度 目標値 40事業/年	児童対象事業数を43事業行った。 （共催・連携事業含む） 引き続き事業の実施に努めたい。	B		区分 6	(2)児童対象事業数 37事業/年	②子どもたちの図書館への興味や読書推進につながるような事業の展開に努めます。	児童対象事業数 令和5年度実績 42事業（共催・連携事業含む） 目標値は達成した。引き続き事業の実施に努めたい。 各図書館でテーマに沿った展示を行った。
児童書展示コーナーの充実	各図書館で児童書の展示コーナーを設け、定期的にテーマを設定し児童書の紹介を行います。	子どもの読書活動を推進するため、展示内容の充実を図ります。	児童書の展示コーナーの充実	各図書館でテーマに沿った展示を行った。						
ブックリストの作成 （小中学生向け）	小学生向けに「ほんのタネ」、中学生向けに「Book de Go！」のブックリストを作成・配布します。	小中学生の読書活動を推進するため、対象年齢に応じたブックリストの内容の充実を図ります。 将来の図書館のDXの推進に合わせたブックリストのビジュアル化を検討します。	ブックリストの作成	小学生向けに「ほんのタネ!」を年1回、中学生向けに「Book de Go！」を年1回作成・配布した。「ほんのタネ」「Book de Go！」の紹介図書について、QRコードを掲載しWeb－OPACで検索できるようにした。	A		区分 2	図書館からの情報発信	②子ども向けのおすすめ本リスト（「えほんのくに」（年3回）「ほんのタネ」（小学生向け）「Book de Go！」（中学生向け）（年1回）等を発行し、子どもたちに図書館に所蔵している本の紹介を行います。	子ども向けおすすめ本リストの発行 令和5年度実績 えほんのくに 3回 ほんのタネ 1回 Book de Go! 1回 ブックリストの紹介図書について、QRコードでWeb－OPACに誘導できるよう検討する。
学校の読書活動支援	団体貸出やスクール便などを活用し、学校の読書活動の支援を行います。	スクール便の内容の充実を図り利用を促進します。 学校への団体貸出に対応するため、学習支援に適した資料を積極的に収集します。	学校への団体貸出件数 令和10年度・15年度 目標値 30件/年	学校への団体貸出件数 12件 613冊 学習支援に適した資料の収集に努めた。 スクール便は小学校16校で実施した。			区分 5	(2)学校への団体貸出件数 100件/年	①学校への団体貸出やスクール便等を活用し、学校への読書支援を行います。	学校への団体貸出件数 令和5年度実績 25件 学習支援に適した資料を積極的に収集し提供に努めたい。
学校教育との連携強化	図書館職員と学校図書館関係者との連携強化を図ります。 小中学校の職業体験の積極的な受け入れに努めます。	各図書館においてエリアごとに近隣学校との交流を推進します。 小中学校の職業体験を積極的に受け入れます。	学校図書館担当者会議及び同司書連絡会議への参加 3回/年	学校図書館担当者会議に1回、学校図書館司書連絡会に3回参加した。 小学校の職場見学を3校、中学校の職場体験はを7校受け入れた。	A		区分 5	学校図書館担当者会議及び同司書連絡会議への参加 3回/年	②図書館職員と学校図書館関係者等の連携の推進を図ります。	学校図書館担当者会議及び同司書連絡会議への参加 令和5年度実績 3回/年 目標値は達成した。

（３）ヤングアダルト（青少年）

主な取組み	取組の内容	今後取り組むこと	サービス計画				旧サービス評価指標			
			目標値	取組状況（令和6年度）	評価		区分	目標値（令和7年度）	達成方法（抜粋）	実績・成果（令和5年度）
ヤングアダルト（青少年）への読書支援	各図書館でヤングアダルト（青少年）向けの資料を集めたコーナーを作り利用促進に努めます。 ヤングアダルト（青少年）向けのブックリストを作成し、市内学校などへの配布、図書館ホームページで公開を行い、読書支援を行います。	ヤングアダルト（青少年）向けの資料の充実を図ります。 ヤングアダルト（青少年）対象のブックリストを作成し、利用促進を図ります。 各図書館でヤングアダルト（青少年）コーナーの設置を推進します。	ヤングアダルト（青少年）向けの資料の収集や紹介を行う。	中学生向けに「Book de Go！」を年1回作成・配布した。紹介図書について、QRコードを掲載しWeb－OPACで検索できるようにした。 この年代の図書館利用が少ないことから、各図書館でヤングアダルト（青少年）向けの資料を収集するとともに資料の紹介方法を検討する。	B	B				

(1) 読書活動を深める機会の提供

（３）情報の普及・啓発

主な取組み	取組の内容	今後取り組むこと	サービス計画				旧サービス評価指標			
			目標値	取組状況（令和6年度）	評価		区分	目標値（令和7年度）	達成方法（抜粋）	実績・成果（令和5年度）
主催事業やブックリストなどの子どもの読書活動事業の周知	「としょかんつうしん」やブックリスト「えほんのくに（幼児）」「ほんのタネ（小学生）」「Book de Go!」（中学生・高校生）」を発行し読書活動を推進します。	発行物については、印刷物以外の媒体による公開の検討を行い、SNSなどの活用を含めた情報発信を図ります。情報発信の手法は定期的に見直しを行い、その時代に合った手段で、対象者に効果的に発信できるように努めます。	ブックリストの作成	子ども向けブックリストとして、「えほんのくに」を年3回、小学生向けに「ほんのタネ」を年1回、中学生向けに「Book de Go!」を年1回作成・配布した。「ほんのタネ」「Book de Go!」の紹介図書について、QRコードを掲載しWeb－OPACで検索できるようにした。SNSの活用については、継続して検討する。	A	A	区分 2	図書館からの情報発信	②子ども向けのおすすめ本リスト（「えほんのくに」（年3回）「ほんのタネ」（小学生向け）「Book de Go!」（中学生向け）（年1回）等を発行し、子どもたちに図書館に所蔵している本の紹介を行います。	子ども向けおすすめ本リストの発行 令和5年度実績 えほんのくに 3回 ほんのタネ 1回 Book de Go! 1回 ブックリストの紹介図書について、QRコードでWeb－OPACに誘導できるよう検討する。
関連施設との連携協力による広報	学校図書館担当者会議での情報交換を行います。ブックスタート事業へ参加します。	学校図書館担当者会議での情報共有を通じて図書館活動への理解を深めてもらい、学校との連携強化を図ります。ブックスタート事業では現場の情報を積極的に収集し、図書館事業との相互発展を図ります。	学校との連携	学校図書館担当者会議に1回、学校図書館司書連絡会に3回参加した。令和7年度のブックスタート事業で配布する絵本の選定に参加した。			区分 5	学校教育支援・家庭教育支援の質的充実	①各施設への講師派遣によりブックスタートへの参加、絵本の読み聞かせ、ブックトーク等の実施や、ブックリストの配付等を行い、読書活動を支援します。 ②図書館職員と学校図書館関係者等の連携の推進を図ります。	学校図書館担当者会議及び同司書連絡会議への参加 令和5年度実績 3回/年 ブックスタート事業に配布する資料の選定に参加した。

基本方針３ 市民のくらし、地域の拠点となる図書館

1 市民との連携 図書館活動への参加

（１）図書館ボランティア活動の推進

主な取組み	取組の内容	今後取り組むこと	サービス計画				旧サービス評価指標			
			目標値	取組状況（令和6年度）	評価		区分	目標値（令和7年度）	達成方法（抜粋）	実績・成果（令和5年度）
図書館ボランティアとの連携・支援・育成	図書館ボランティアと連携した講座・事業を実施します。 ボランティアの育成及び活動の場を提供します。	より充実した内容の講座・事業を実施するため、図書館ボランティアとの連携を強化します。 図書館ボランティアを対象とした研修などを定期的実施し、習得した技術を生かすための場を設けます。 「図書館ボランティア受入実施要領」やマニュアルの見直しを行います。	ボランティアとの連携事業数 令和10年度・15年度 目標値 15事業/年	図書館ボランティアとの連携事業数13事業/年(共催事業含む) ボランティアを対象とした研修ができていないことからボランティアの受け入れ体制などについて全体的に見直していく。	B	B	区分 8	図書館ボランティアと連携した事業数 15事業/年	①読み聞かせや対面朗読ボランティア等、活動に必要な知識や技術を習得した図書館ボランティアと連携して講座・事業等を行います。 ②要領・マニュアルの見直しを行います。	図書館ボランティアと連携した事業数 令和5年度実績 14事業(共催事業含む) 目標値をほぼ達成した。引き続き連携を進めたい。

（２）市民団体との連携

主な取組み	取組の内容	今後取り組むこと	サービス計画				旧サービス評価指標			
			目標値	取組状況（令和6年度）	評価		区分	目標値（令和7年度）	達成方法（抜粋）	実績・成果（令和5年度）
読書会や文庫などへの資料の提供	団体の要望に応じた図書館資料の貸出を行います。資料によっては市外の自治体の図書館から資料の取り寄せを行います。	要望に応じられるよう資料の充実を図ります。	団体への資料の提供	市民団体の活動支援のための資料の収集及び市外の自治体の図書館から資料の取り寄せを行った。	B	B	区分 8	図書館ボランティアと連携した事業数 15事業/年	①読み聞かせや対面朗読ボランティア等、活動に必要な知識や技術を習得した図書館ボランティアと連携して講座・事業等を行います。	図書館ボランティアと連携した事業数 令和5年度実績 14事業(共催事業含む) 目標値をほぼ達成した。引き続き連携を進めたい。
事業の協力	おはなし会などの図書館事業へ市民団体に協力・参加していただきます。	継続して団体と協働し、図書館を身近に感じられるような新たな読書活動推進事業の充実を図ります。活動を支援し、広く紹介していきます。	市民団体との連携	おはなし会の他、地域読書会との共催事業として小倉台図書館では「小さい子と親の読書会」小林図書館では「クリスマス会」を行った。	B					

2 関係機関との連携

(1) 行政部署や関係機関との連携

主な取組み	取組の内容	今後取り組むこと	サービス計画				旧サービス評価指標			
			目標値	取組状況（令和6年度）	評価		区分	目標値（令和7年度）	達成方法（抜粋）	実績・成果（令和5年度）
行政機関などとの連携	資料の提供や事業の連携を図ります。	より活用してもらえるよう行政機関へ図書館利用推進を図ります。 共催事業の実施により協力関係の充実を図ります。 様々な依頼に応えられるような資料の充実を図ります。	資料の提供や事業の連携	主な連携事業として、ブックスタート（子育て支援課）、環境月間（環境保全課）、認知症月間の展示や講座、自殺対策強化月間の展示（健康増進課）、文化ホールとの連携事業、子育て支援センターと共催事業を行った。	B	B				

基本方針4 住みよさを実感できる図書館

1 市民の居場所としての環境の充実

(1) 施設設備の維持管理

主な取組み	取組の内容	今後取り組むこと	サービス計画				旧サービス評価指標			
			目標値	取組状況（令和6年度）	評価		区分	目標値（令和7年度）	達成方法（抜粋）	実績・成果（令和5年度）
適切な施設設備の維持管理	利用者が安全・安心に図書館を利用できるよう、計画的に適切な施設設備の維持管理に努めます。	施設の老朽化などによる不具合の解消に努めます。 省資源・省エネルギーを念頭に置いて施設設備の維持管理に努めます。 回収時において、書庫などバックヤードのスペースをの増設を検討します。	適切な施設整備及び維持管理	本桢：本桢ファミリア館（本桢図書館）改修工事設計 印旛：ふれあいセンターいんば（印旛図書館）大規模改修工事設計 小倉台：保全改修工事基本設計・実施設計を行った。	B	B	区分9	図書館体制の見直し	①市の公共施設関連の計画に基づき、図書館の新設及び統廃合等を検討します。	小林：保全改修工事が完了し、10月1日より再開館した。 本桢：本桢ファミリア館（本桢図書館）改修工事設計 印旛：ふれあいセンターいんば（印旛図書館）大規模改修工事設計 小倉台：保全改修工事基本設計・実施設計
新規施設の整備検討	人口の変化及び年齢構成に対応した図書館サービスを提供できるよう新規施設の整備の検討を行います。	印西市公共施設整備基本方針に基づき、適切に図書館サービスを提供できるよう、施設の統廃合、集約化、複合化を含めた新規施設の整備を検討します。 資料を保存する書庫の確保、施設のバリアフリー化、集会室や会議室、学習スペースや集いのスペース、駐車場の確保なども念頭に置いた検討を行います。	新規施設の整備検討	庁内で情報共有を図った。	B					

(2) 快適な環境の提供

主な取組み	取組の内容	今後取り組むこと	サービス計画				旧サービス評価指標			
			目標値	取組状況（令和6年度）	評価		区分	目標値（令和7年度）	達成方法（抜粋）	実績・成果（令和5年度）
閲覧席の設置	利用者の館内での図書館資料の閲覧に対応するため各図書館に閲覧席を設置します。	閲覧席の配置を工夫し、増設を検討します。 各図書館でレイアウト替えを行い、利用者のニーズに合った閲覧席を確保します。	閲覧席の確保	閲覧席の増設については今後継続して検討する。	B	B				
館内での資料閲覧への対応	利用者へのインターネット閲覧環境の拡充を図ります、	新聞などの有料データベースの導入を進めます。 図書館のインターネット支援サービスの環境を整えます。 各図書館のフリーWi-Fi環境の整備を進めます。	インターネット閲覧環境の整備	小倉台図書館ではフリーWi-Fi環境（機器）の更新を行った。 他の館については導入に向けて継続して検討していく。	C					
利用者ニーズに応じた図書館の開館時間	大森図書館及び小倉台図書館では、毎週水曜日19時まで開館時間の延長及び祝日開館を行っています。	開館時間及び開館日数の設定について、地域の実情や市民の生活時間などを考慮して検討を図ります。	開館時間及び開館日の検討	大森図書館及び小倉台図書館で毎週水曜日の開館時間延長や祝日開館を行った。 開館日数実績 大森・小倉台：301日 小林・印旛：286日 そうふけ・本埜：283日	B		区分 9	開館日数等の拡大を図ります。	①開館日および開館時間の拡大を検討し利用機会の促進を図ります。	開館日数 令和5年度実績 大森・小倉台：303日 小林：139日 ※令和5年9月30日まで保全改修工事のため休館 そうふけ：285日 印旛：288日 本埜：286日

2 専門職員の充実と育成

(1) 継続的な司書の確保及び職員配置

主な取組み	取組の内容	今後取り組むこと	サービス計画				旧サービス評価指標			
			目標値	取組状況（令和6年度）	評価		区分	目標値（令和7年度）	達成方法（抜粋）	実績・成果（令和5年度）
司書資格者の確保	司書資格を有する職員の確保に努めます。	現職員の年齢などを考慮した計画的な人的配置を検討し、司書資格を有する正規職員の確保に努めます。 司書資格を有する職員の各図書館への配置に努めます。	司書資格者の確保	令和6年度の職員体制は、正規職員16名（併任・兼任含む） 内司書資格者8名 令和7年度司書資格を有する職員の募集を行った。	B	B	区分 9	職員配置と司書資格者の確保	①司書資格を有する職員の確保に努めます。	令和5年度職員体制 正規職員17名（併任・兼任含む） 内司書資格者7名 司書資格を有する職員の確保に努めたい。
職員配置の充実	適正な人員を配置します。 任期付職員及び会計年度任用職員の採用を行います。	充実した図書館サービスを達成するために適正な配置に努めます。	全館への司書資格を有する職員の配置	司書資格を有する正規職員を6館すべてに配置ができるよう人事課と協議し職員の確保に努める。	B					

(2) 職員の資質・能力の向上

主な取組み	取組の内容	今後取り組むこと	サービス計画				旧サービス評価指標			
			目標値	取組状況（令和6年度）	評価		区分	目標値（令和7年度）	達成方法（抜粋）	実績・成果（令和5年度）
職員の能力向上	県立図書館や県公共図書館協会や行政などが主催する実践的研修への積極的な参加を促進します。 課題解決に向けた自主研修を励行します。 研修で得た情報を職員間で共有します。	職員の資質向上のために積極的な研修への参加を促進します。 遠隔研修への参加を促進します。 職員の自主研修を励行します。 研修内容を職員間で情報共有するため研修の機会をつくります。	職員研修等の充実 研修への参加 令和10年度・15年度 目標値 20回/年	職員研修等の実績 千葉県や千葉県公共図書館協会などの研修に18回28人参加した。 Zoomや動画配信の研修など積極的に参加し、業務で活用できるよう内容について職員で共有していく。	B	B	区分 8	研修への参加 20回/年	①県立図書館や県公共図書館協会等が主催する実践的研修に積極的に参加します。 ②課題解決に向けた自主研修を励行します。 ③教育センター等の市の機関と連携し、お互いの職員のスキルアップが図れるような研修を行えるよう連携の強化を図ります。 ④上記①②③で得た情報を職員間で共有し、図書館サービスの拡大に役立てます。	県立図書館等主催研修への参加回数 令和5年度実績 15回 Zoomや動画配信なども活用し、積極的に研修に参加した。